

目次(和文)

雑誌名	東西南北
巻	2006
ページ	2-3
発行年	2006-01-31
URL	http://id.nii.ac.jp/1073/00003328/

大学における研究活動は、いま——大学附属研究所の現状と未来 ◎ユ・ヒョチョン・川崎嘉元・鈴木健二・福田誠治・ブレンサイン・井上輝子	4
--	---

第2の戦前・今日◎加藤周一	42
---------------	----

特集 南西アジア—インド洋世界をつなぐ新資料報告	74
2004年度ガンダーラ調査◎前田たつひこ	76
ワンザとバルーチ：東アフリカにおける南西アジア系ハムワタニー◎村山和之	87

特集 大学で実現できる国際協力に関する研究	102
国際協力への学生参加◎バンバン・ルディアント	103
東南アジアにおける海外フィールドワークの実施 ◎加藤 巖・古岡文貴・Sharon Cheuk・Grace Phang	113
Student Participation in a Community-based Flood Mitigation Project◎Krishna S. Pribadi	126

ウーマンリブの思想と運動 ——関連資料の基礎的研究◎井上輝子・長尾洋子・船橋邦子	134
---	-----

日本の財政破綻の危機と経済学◎伊東達夫・綿引 弘・山田 久	159
-------------------------------	-----

『国境にまたがる民』のモダニティとナショナリズム◎ウラディン・E・ボラク シンジルト／訳	176
--	-----

社会正義と人々のエンパワーメントのためのRESPECTFULカウンセリング ——ダニエルズ&ダントレア「社会問題に立ち向かうカウンセリング」講演報告 ●伊藤武彦	187
--	-----

写真展と語り合い サハリン残留朝鮮人の軌跡●片山通夫	194
-------------------------------	-----

ベトナム戦争は終わっていない ～30年後の枯れ葉剤被害と国際支援の現状～	204
---	-----

ベトナムの枯れ葉剤/ダイオキシン問題 ——解決の日はいつ●ミー・ドアン・タカサキ 内田正夫/訳	206
--	-----

枯葉剤犠牲者のための支援施設 ——「ベトナム友好村」の支援活動と交流●阿原成光	223
--	-----

「プチ・メディアの誘惑」報告●浅見克彦	237
---------------------	-----

「『からだ』から『障害児・家族・地域』の支援を考える」報告●大橋さつき	242
-------------------------------------	-----

大学図書館の研究支援機能の充実——アメリカ合衆国の場合、日本の場合 ●岩渕祥子・岩間暁子・沢里冬子・長尾洋子・津野海太郎	247
---	-----

十年誌——1995-2005●総合文化研究所	279
------------------------	-----

表紙題字：川添修司
裏表紙英文タイトル校閲：ロバート・リケット

◆方位盤のイラストは以下の地図から採録したものを加工しました。
(表紙) *Map of Virginia*, by William Hole, (1624) / LC Control Number: 2001695744
(p. 41) *Map of the Mississippi River*, by Nicholas King (1811?) / LC Control Number: 78690237
(p. 125) *Amerique septentrion*, by I Baptiste Louis Franquelin (1685) / Call Number: G3300 1685. F7 Vault
所蔵：Library of Congress Geography and Map Division Washington, D.C. 20540-4650 USA